第 38 回 東京民研・都教組『共同研究集会』(二次案内)

子どもたちと いのち輝く平和な未来を Ⅷ

「コロナ禍」の中で見えてきたこと・・・・

「友だちと一緒に勉強するって、やっぱり楽しい♡」

創ろう、子どもの命と発達の願いを大切にした学校を！

広げよう、“子どもから出発する授業”と“つながり合う喜び”を！

9月12日(日) 13:00～16:30

◆歌を歌っちゃダメ、給食は前を向いて黙食。休み時間は密にならないように遊びなさいなんて言っても、子どもには無理。政治や社会は感染制御に力を尽くしていない。子どものことを真剣に考えてほしい。安易にオンラインで学べばいいと考える文科省は、全くわかってない！

◆いい授業、楽しい授業は、どうやって子どものリアルな体験と学びをどう結び付けるかがポイントだ。タブレットを必ず使えなんて本末転倒。

◆新しい「3 観点評価」っていったい何？　コロナ対応で大変な今、現場の疑問に答えず議論もさせないままで強行して・・・。
子どものためになるとは思えない。

◆教育委員会の「指導」には、Sciety5.0 とか GIGA スクールとか、わかりにくい言葉があふれているけれど・・・・

★エデュカス東京4階会議室、北多摩西支部 and リモート（ID 923-865-4228 パス 0841）

コロナ禍で子どもは？ 「制限」がある中、楽しい学びや仲間との繋がりをどう作るか？

小学校、中学校のコロナ禍での授業や現場からの三つの報告を受け、授業の在り方、学校の在り方を探っていきます。

1, 小学校から 実践報告(生活科、理科) 　　**國貞 圭佑**(世田谷支部)

2, 小学校英語・中学少人数習熟別指導を考える 　　**吉岡 潤子**(外国語部会)

3,「評価」の問題と教科の本質(中学校社会科から) 　　**坂爪 邦雄**(北多摩東支部)

「タブレットは万能？」「評価問題」「少人数指導・習熟別クラス編成」「デジタル教科書」

「GIGA スクール構想」など、現場の問題について考え合いましょう。

連絡先　**東京民研**　TEL：03(3230)0841　FAX：03(3262)9705　E-mail：tokyo-minken@educas.jp